

夏の子どもフェスティバル

1 事業のねらい

ネイパル足寄の教育資源を活用した体験活動の提供を通して、施設のPRとともに家庭や地域の教育力の向上を図る。

2 事業の概要

- 期日 R4.8.7(日) 日帰り
- 対象 家族
- 人数 36 家族 116 名
- 場所 北海道立体験活動支援施設ネイパル足寄

3 プログラム

受付開始 9:30 終了: 13:00

参加料 200円(4歳以上から徴収)

【活動プログラム】

- ・おがカラーぬり絵 ・羊毛クラフト ・木のバッグタグづくり ・缶バッジづくり ・木の実クラフト
- ・絵本づくり ・フライングディスクゴルフ ・家族で団らんタイム(飲み物・お菓子の無料提供)

【事業概要】

2年前までは施設開放事業として実施していたが、北海道内の感染症拡大の状況を鑑み、事前に参加者を募集した上で実施した。施設職員の他、ボランティア13名が事業運営に携わった。

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■体験活動リーダー養成講座と併せて実施

- ・充実した体験プログラム提供のために、体験活動リーダー養成講座の参加者にボランティアとして協力いただいた。事業当日は施設職員が各活動場所の責任者となり、ボランティアにプログラム説明や受付などを担ってもらった。

■感染症対策

- ・当選者全員に2週間の体調確認及び検温を実施してもらい、Google formsを活用し、結果集約を行い安心して事業に参加してもらえるようにした。また入館時に全員の検温も実施した。



おがカラーに夢中の親子

5 事業の評価

■参加者の声

- どのプログラムもスタッフの方がたくさんいたので安心して活動に取り組めた。(帯広市からの参加)
- フライングディスクゴルフは小学1年生の娘も楽しめたが、大人の方が夢中になって楽しめました。(帯広市からの参加)
- 想像力をふくらませ、色々な物が作れたし、身体も動かせたし、とてもよい夏休みの思い出になりました。(足寄町からの参加)
- 当落通知や当日案内などメールでのやりとりが楽だった。当日はスタッフの皆さまがとても優しく、雰囲気も良くて親子3人貴重な体験ができました。(土幌町からの参加)
- 「待機場所」を指示してもらえると、混雑をもっと避けられたと思います。(芽室町からの参加者)



フライングディスクゴルフ体験中

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 今後、同様の事業があった場合は「また参加したい」という声が多く聞かれ、事業の目的は十分に達成できたと言える。また、家でも材料が揃えられそうな体験活動を用意して家庭教育支援の視点で事業を実施できた。
- 各活動場所の紹介や作り方の説明や作れる物の写真などを拡大掲示や順番待ちの場所の指定など、利用者目線に立った館内表示等をもっと充実させる必要がある。



企画のポイント

プログラム体験を通して施設のPRも行いながら、家庭教育支援も行えるイベントづくり

サマークッキング in 足寄

1 事業のねらい

集団での様々な体験活動をとおして、協調性を育むとともにコミュニケーション能力の向上を図る。

2 事業の概要

- 期日 R4.8.11(木)～8.12(金) 1泊2日
- 対象 小学4年生～小学6年生
- 人数 22名
- 場所 ネイパル足寄

3 プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21				
1日目							1	受付	開会式	ななろう	なかよく	入室	カレーライス作り			入浴	検準備	検温	就寝	
2日目	起床	洗面	洗濯	朝の検温	朝の集い	グック	手洗	朝食	軽食	お	清掃	マイ箸作り	振り返り	閉会式						

【活動1：カレーライス作り】異学年の集団で役割を分担して、協力して炊飯活動を行う。

【活動2：マイ箸作り】友達の進捗状況を考えながら、個々が主体的に役割を見つけて

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■野外炊飯

- ・野外炊飯を行う前に、班ごとに作業内容の確認や役割分担を話し合い、学年や生活経験の違いをお互いに認めた中で協力して、作業を進めようとする意識が高まるようにした。

■マイ箸作り

- ・個人の作業が中心となる創作活動においても、参加者が協力して準備・制作・後片付けを行うよう展開することで、コミュニケーション能力の育成に取り組んだ。



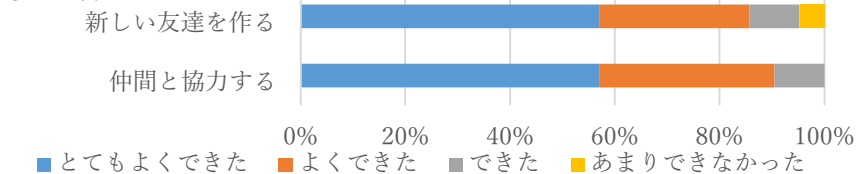
役割分担して取り組む野外炊飯



マイ箸づくりでこんなに挑戦！

5 事業の評価

参加者アンケート



■参加者の声

- ・学年によってどのように接する方がいいのか学ぶことができた。
- ・1班のみんなと協力してカレーライスを作った時、すごく楽しかった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- (満足度の肯定評価 92%から) 野外炊飯や朝食づくりなどを通じて、仲間と協力して活動することを楽しみながら行うことができた。
- (満足度の肯定評価 86%から) 集団で宿泊する活動を通じて、相手を思いやり行動することができた
- 事業終了後の個々の振り返りを交流することで、本事業の学びを日常生活にも生かせる時間の確保。



企画のポイント

活動の目的を明確にすることで、課題意識が高まり、自らの行動を振り返ることができる。

はじめてのおとまり

1 事業のねらい

宿泊体験や集団での体験活動をとおして自立心や社会性を養うとともに、望ましい生活習慣をすすんで実践する態度を育む。

2 事業の概要

- 期日 R4.10.29(土)～10.30(日) 1泊2日
- 対象 小学1年生～小学3年生
- 人数 42名
- 場所 ネイパル足寄

3 プログラム

1日目	受付時間 13:30～14:30											受付	開会式	ブレイク	チャレンジ	ベッドメイクの説明	入室	夕食	自由入浴時間	ネイパルシアター	就寝準備	就寝
2日目	起床	洗面	布団消毒	朝のつどい	朝食	部屋清掃	部屋点検	工作タイム (おがカラー)	ふりかえり	閉会式	11:40解散											

【活動1：宿泊体験】ベッドメイク等を通して、身の回りのことは自分でやる意識を高める。

【活動2：工作タイム】集団での創作活動を通して、創造性や協調性を育む。

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■宿泊体験

- ・ベッドメイクや食事の片付け、身支度といった自分の身の回りのことは自分でやろうとする意識を高まるようにした。

■工作タイム (おがカラー)

- ・個人の作業が中心となる創作活動においても、班の仲間と協力して制作、後片付けを行うよう展開することで、創造性や協調性を養うようにした。



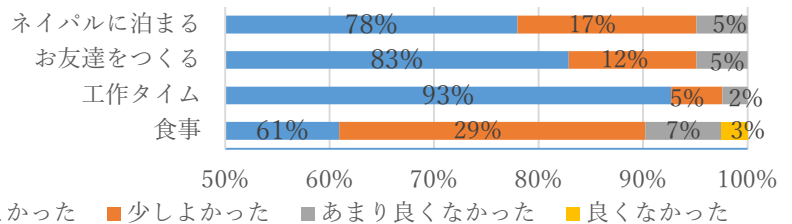
ベッドメイクは一人で出来ます！



おがカラーで独創的な作品に挑戦！

5 事業の評価

参加者アンケート



■参加者の声

- ・ネイパルに泊まってお友達がたくさんできて、すごく楽しかった。
- ・ベッドメイクの仕方を学ぶことが出来て良かった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- ベッドメイクやチャレンジランキングなどを通じて、仲間と協力して活動することを楽しみながら行うことができた。
- 生活のルールを身につけ、自立心を育み、相手を思いやり行動することができた。
- 活動時間に余裕を持たせること。就寝後の眠れない児童の対応が人員不足。しおりに記載の時間を明確にすること。



企画のポイント

人との関わりを通して、自主、自立、協調の姿勢を養い行動できるようにする。

はじめてのおとまり（からだ元気の巻）

1 事業のねらい

宿泊体験や体づくりでの体験活動をと
おして自立心や体の健全育成を図ると
ともに、望ましい生活習慣をすすんで実践
する態度を育む。

2 事業の概要

- 期日 R4.11.26(土)～11.27(日) 1泊2日
- 対象 小学1年生～小学3年生
- 人数 34名
- 場所 ネイパル足寄

3 プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
1日目								受付時間 13:30～14:00	受付	開 会 式	フ ァ ィ ィ ス	体 操 (マ ツ ト & 鉄 棒 & 縄 跳 び)	入 室	夕 食	入 浴	ポ ッ チャ	就 寝 準 備	就 寝	
2日目	起 床	洗 面	布 団 消 毒	体 操	朝 食	部 屋 清 掃 検	ラ ィ ン ジ ャ ン プ & 走 り 方 ト レ (セ ィ ィ ビ ー マ ツ ク ク)	ふ り か え り	閉 会 式	11:50解散								(ス キ マ ツ ィ ン グ チ ャ レ ッ ジ)	

【宿泊体験】食事・ベッドメイク・清掃を通して、身の回りのことは自分でやる意識を高める。

【体づくり】各運動活動にチャレンジしながら体力向上を図る。

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■宿泊体験

- ・自分の身の回りの後片付けや宿泊室の清掃では、しおりの点検表を確認しながら進めるように促し、ふりかえりの時間で最終的にできた項目を再確認した。

■体づくり

- ・体操、ポッチャ、ラインジャンプ等の運動活動で励みになるよう、活動のしおりにスタンプ表を付け、スタンプを押すことにより達成度合いが分かるようにした。



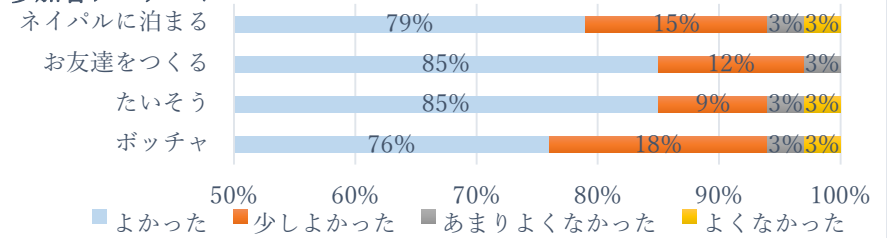
友達とおとまり、楽しい！



逆上がりにも元気にチャレンジ！

5 事業の評価

参加者アンケート



■参加者の声

- ・ネイパルに泊まってお友達がたくさんできて、うれしかった。
- ・運動活動が楽しかった。ポッチャをはじめて知った。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 宿泊体験を通じて、生活のルールを身につけ、自立心を育む活動ができた。
- 楽しく運動しチャレンジすることにより、達成度を上げていき、体力向上を図ることができた。
- 運動活動では、飲水や休息が必要になるので、児童の様子をこまめに観察するため、スタッフの配置を考慮する。



企画のポイント

人との関わりを通して、自主、自立の姿勢と体の健全育成を図る。

はじめてのおとまり（からだ元気の巻②）

1 事業のねらい

宿泊体験や体づくりでの体験活動をと
おして自立心や体の健全育成を図ると
ともに、望ましい生活習慣をすすんで実践
する態度を育む。

2 事業の概要

- 期日 R5.3.4(土)～3.5(日) 1泊2日
- 対象 小学1年生～小学3年生
- 人数 39名
- 場所 ネイバル足寄
- 講師 ネイバル厚岸 所長 三間順一
- ボランティアリーダー 北海道足寄高等学校4名
北海道幕別清陵高等学校5名

3 プログラム

1 日目	受付時間 13:30～14:00											受付	開 会 式	フ ァ イ ス レ イ ス	体 操 (マ ツ ト & 鉄 棒 & 縄 跳 び)	ポ ツ チャ	入 室	夕 食	入 浴	就 寝 準 備	就 寝
2 日目	起 床	洗 面	布 団 消 毒	体 操	朝 食	部 屋 清 掃	部 屋 点 検	ラ イ ン ジ ャ ン プ & 走 り 方 ト レ (セ イ フ イ ー ビ ー チ フ ラ ッ ク)	ふ り か え り	閉 会 式	11:50解散	(スキムライジングチャレンジ)									

【宿泊体験】食事・ベッドメイク・清掃を通して、身の回りのことは自分でやる意識を高める。

【体づくり】各運動プログラムにチャレンジしながら体力向上を図る。

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■宿泊体験

- ・食事、入浴、就寝準備の時間を確保できるように運動プログラムを夕食前に実施し、落ち着いて宿泊体験するよう促した。

■体づくり

- ・前回好評だった体操、ポッチャ、ラインジャンプ等の達成に応じたスタンプ表を今回も実施した。それにより運動をさらに意欲的にチャレンジできるようにした結果、多くの児童が実力を上げることができた。



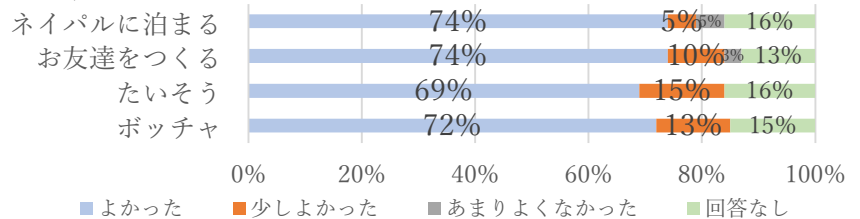
マット運動まっすぐがむずかしい！



協力しながら自分のこともしっかり！！

5 事業の評価

参加者アンケート



■参加者の声

- ・緊張してたけど、はなしかけてくれて、とてもうれしかった。
- ・両親とはなれるのがさみしいときもあったけど、運動がたのしきでいっぱい、思い出すことも少なかった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 宿泊体験や運動プログラムを通じて、自立心を育み、もう一つ上のチャレンジをする意欲的な活動ができた。
- ボランティアを含めたスタッフをプログラムに応じ適所に配置し、スムーズな進行ができた。
- 低学年児童の動く時間を想定し、プログラムの配分時間を考慮していく。



企画のポイント

人との関わりを通して、自主、自立の姿勢と体の健全育成を図る。

親子で自然とふれあい、創作活動に関わる体験プログラム じぶんだけの枝人形をつくろう

1 事業のねらい

身近にあるものを使い、一から作る楽しさを味わいながら自己表現・芸術性を高める。

2 事業の概要

- 期日 R4.10.15(土) 10.23(日) 11.3(木・祝) 日帰り3回
- 対象 0歳～小学2年生までの児童とその同居家族
- 人数 31家庭85名
- 場所 ネイパル足寄

3 プログラム

	9	10	11	12	13	14	15	16
晴天時	9:00 受付開始	受付 開会式	アイス ブレイク 事業説明	ネイパルの森で 宝探し (枝あつめ)	昼食	枝人形づくり	撮影会	閉会式 16:00 解散
荒天時	9:00 受付開始	受付 開会式	アイス ブレイク 事業説明	館内で お楽しみ会 (枝あつめ)	昼食	枝人形づくり	撮影会	閉会式 16:00 解散

- 【活動1：アイスブレイク】全員参加型のじゃんけんゲームを行い参加者同士の緊張をほぐす。
- 【活動2：ネイパルの森で宝探し】人形づくりで使う枝や木の実を森で拾い集める。
- 【活動3：枝人形づくり】自分で集めた材料で枝人形をつくる。

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- ネイパルの森で宝探し
 - ・どのくらい材料を集めたらよいか事前に見本を作り、自分の作りたい人形をイメージしながら材料を集めてもらった。
 - ・材料の衛生面を考慮し煮沸体験も行った。
- 枝人形づくり
 - ・グルーガンで火傷をしないように説明をし、使用時は参加者に軍手をさせ、安全対策をして行った。
 - ・人形の見本を展示することで作りたいもののイメージを膨らませることができた。

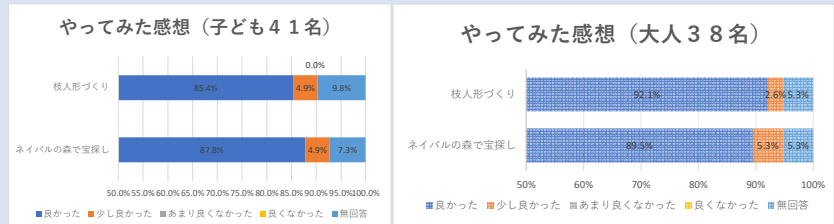


枝や木の実を集める親子



枝人形づくりの活動中

5 事業の評価



■参加者の声

- ・くみたててくふうするのがたのしかったです。(子ども)
- ・自然に接する機会が少ないので参加しました。ネイパルの森で枝やどんぐりを探したり、その素材で自由に作品を作ったり親子でたのしかったです。(大人)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加者自身が集めた材料を用いて、創意工夫しながら作品を創る様子が見られたため、自己表現や芸術性を高める場を提供することができたと考えます。
- 開催時期を工夫し、参加者の安全を確保するとともに、収集できる材料を変化させる等、さらに参加者の創意工夫を促す内容にしたい。



企画のポイント

親子で一からはじめる創作活動をとおして創造性や感性を高めるようにする。

1 事業のねらい

地域における季節ごとの体験を通してふるさとの自然の良さを知り地元地域への愛着を深める。

2 事業の概要

- 期日 R4.6.18(土)~19(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生~中学3年生、家族
- 人数 20名
- 場所 ネイパル厚岸
- 協力 厚岸観光協会

3 プログラム

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目								受付	開会式	厚岸の春を探そう	夕食	荷物移動	入浴・交流 就寝準備	就寝			
2日目	起床・清掃	朝食	部屋点検	記念品づくり	昼食	ザクザク！アサリ掘り	閉会式										

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■地域資源を生かした体験プログラム

- ・「厚岸の春を探そう」のアクティビティプログラムにてテーマに沿った散策を実施。第一遊歩道から厚岸樹木園をコースに春ならではの、厚岸ならではの動植物探しを行った。グループによる活動によりコミュニケーション能力の向上を図る場とした。
- ・厚岸町観光協会の協力を得て、「アサリ掘り」を実施。砂浜での「アサリ掘り」を通し厚岸の自然の豊かさを感じてもらおうと共に環境教育の場とした。



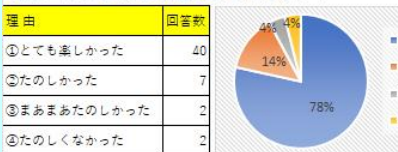
森の中を歩いて春探し



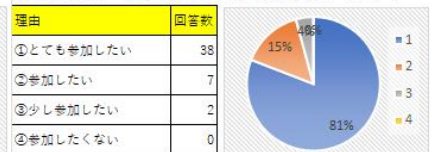
アサリ掘りを楽しむ参加者の様子

5 事業の評価

春だべさに参加して楽しかったですか？



同じようなイベントがあったらまた参加したいですか？



- 参加者アンケートから、次回も参加したいか？という項目で参加したいという回答が96%をしめた。「友達ができた」「グループでの活動が楽しかった」という意見が多く見られた。
- 班だけではなく全体で取り組むものも欲しいとの意見もあった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 春探しのプログラムやアサリ掘りの実施により、厚岸の春の自然を十分に満喫することができた。また、春探しのアクティビティは謎解きの側面もあるため、参加者同士で相談することで、コミュニケーション促進や他者理解につながった。
- 子どものみの参加と親子での参加があったが、各々参加者の教育の視点が違うため、別々での開催も今後は視野に入れていきたい。



企画のポイント

春の自然環境で自然の良さを体験すると共に、子ども達の自主性を育む

夏だべさ！

1 事業のねらい

地域における季節ごとの体験を通してふるさとの自然の良さを知り地元地域への愛着を深める

2 事業の概要

- 期日 R4.8.20(土)~21(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生~中学3年生、家族でのご参加
- 人数 29名(小学生19名、家族3家族) ボランティア6名
- 場所 ネイパル厚岸
- 協力 厚岸町教育委員会、森田湖

3 プログラム

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目								受付	開会式	アイスブレイク	夏のキャンドルづくり	夕食	花火	入浴交流	就寝		
2日目	起床	朝食	後片付け	【森田湖】魚を釣って食べよう！			閉会式										

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 地域資源を生かした体験活動
 - ・ 釧路町にある森田湖は、地元の農家さんが経営しており、隅まで管理の行き届いた場所ある。夏場でも涼しく静かで明るい森に囲まれた場所のため、子ども達が安全に、かつ自然に囲まれた場所で魚釣りを楽しむことができる場として選んだ。
- 季節を感じるプログラム作り
 - ・ 厚岸町は海に囲まれていることから、貝や砂を用いて海をモチーフにしたジェルキャンドルづくりを提供した。その他にも手持ち花火を行うなど、季節の風物詩を体験することとした。



地域資源を生かした体験活動

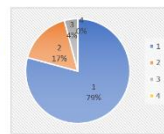


季節を感じるプログラム作り

5 事業の評価

夏だべさに参加して楽しかったですか？

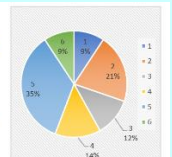
理由	回答数
①とても楽しかった	19
②たのしかった	4
③まあまあたのしかった	1
④たのしくなかった	0



夏だべさに参加して心に残ったことは？

(複数回答可)

理由	回答数
①アイスブレイク	4
②ジェルキャンドル	9
③花火	5
④魚釣り	6
⑤その他	4



【その他】…寝るとき、おかし・アイスの瞬間、まくらなげはじめ釣りをした、みんなでいろいろなものを作った、家でできないことをできた

■アンケートでは「楽しかった」との回答が100%であった。「(魚釣りでは)最初全然釣れなかったけど最後釣れて達成感があり楽しかった」などの声があり、参加者の満足度が伺える。

■「心に残ったことは？」の質問に対して回答が分散しており、夏らしい事業の中で参加者に様々な経験、思い出を提供できた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 魚釣りや花火など、季節ならではの風物詩を仲間と楽しむことができ、夏の思い出を作るとともに様々な体験とおして他人の意見を重んじる行動や、自主性を育むことができた。
- 夏らしいアクティビティを用意できた一方で、アンケートにはキャンプをしたいとの声も多かった。今後のイベントではキャンプや外活動を増やしていきたい。



企画のポイント

夏らしい体験をするとともに、初めての活動に積極的に取り組む自主性を身につける

ネイパルクリスマス

1 事業のねらい

季節ならではのイベントで友人や家族との交流を図りながら、新しいことに挑戦する心を養う

2 事業の概要

- 期日 R4.12.24(土)～25(日) 1泊2日
- 対象 小・中学生、家族
- 人数 38名(子供参加26名、家族参加3組)
- 場所 ネイパル厚岸

3 プログラム

		13:00	13:30	14:00		16:00	17:00	18:30	20:00	21:00	21:30
12/24 (土)	12:30 受付	開会式	自己紹介	サンタクエスト ~おかしを集めよう~	キャンドルホルダーづくり	特別ディナー & ビンゴ大会	入浴	キャンドルナイト	就寝準備	就寝	
	6:30	7:30	8:45	9:00	11:00	11:30					
12/25 (日)	起床	朝食	部屋点検	選べるクリスマスクラフト ・キャンドルサンタ ・ステンドグラス ・クリスマスリース	閉会式	11:30 解散					

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 新しい仲間や家族と感動を分かち合う
 - ・サンタクエストは、クリスマスにちなんだ宝探しやリアル間違い探しなど、班で協力してクリアするミニゲームを通して、楽しみながら交流を促した。また、キャンドルナイトは、ろうそくの幻想的な灯りの下、スライドショーで一日を振り返るなど、仲間との思い出がより特別になるよう演出を行った。
- 新しいことに挑戦しやすい環境の整備
 - ・小学校低学年から中学生まで全員が楽しみながら新しい発見や挑戦ができるよう各アクティビティの難易度を調整した。また今回は、友人や家族の参加をより奨励し、これまで当施設を利用したことがない児童生徒の参加を後押しした。



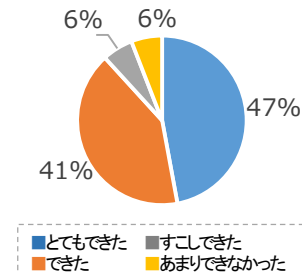
ミニゲームで交流



キャンドルの幻想的な灯り

5 事業の評価

問 友達や家族と交流を深めることはできましたか？



- 参加者アンケートから「友達や家族と交流を深めることはできましたか？」の問いに94%が「できた」と回答した。
- 参加者の声
 - ・新しい友達と、いつもは体験できないことができて楽しかったです。(小6)
 - ・初めてネイパルに泊まって不安だったけど友達もできて面白かった。(小4)
 - ・スタッフの方や初めて会う子達とも交流できて、楽しくいい経験ができました。(保護者)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- サンタクエストやキャンドルナイト、部屋交流等を通して、既知の友人や家族だけでなく新しい仲間との親睦を深めることができた。
- 「何か新しいことに挑戦しましたか」というアンケートに対し、「いつもの宿泊とかわらなかった」という記述がみられた。リピート参加者も何か新しい発見や挑戦ができる仕掛けが必要である。



企画のポイント

グループや家族で活動や感動体験を積み重ねることで、絆を深める

冬だべさ！

1 事業のねらい

地域におけるその季節にしかできない体験を通して、ふるさとの自然のよさを知り、地元への愛着を深める。

2 事業の概要

- 期日 R5.2.18(土)～19(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～中学3年生、家族
- 人数 30名(小学生23名、中学生2名、保護者5名)
- 場所 ネイパル厚岸
- 協力 厚岸町海事記念館

3 プログラム

2/18 (土)	12:30		13:00	13:30			14:30			17:30		18:30	19:30		21:00	22:00
		受付	開会式	活動① 仲間づくり活動			活動② 冬の夜を彩ろう			夕食	活動③ スノーキャンドル ナイト		入浴	就寝 準備	就寝	
2/19 (日)	6:30		7:45		8:45	9:15	9:30		11:30		12:00	12:30				
	起床	朝日を見 に行こう		朝食	点検	準備	雪上アイスづくり		振り返り	閉会式	解散					

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 参加者同士が協力する体験プログラム
 - ・「仲間づくり活動」の「身体じゃんけん」や「スノーキャンドル体験」など力を合わせることによってはじめて達成できる活動を通して、冬の魅力を共有し地域への愛着を深められるようにした。
- 冬の自然を生かした体験プログラム
 - ・早朝、愛冠岬までの道を動物の足跡を探しながら散歩するなど冬ならではの自然を感じる活動を取り入れた。
 - ・「雪上アイスづくり」では、雪や身近な材料を使ってアイスを作ることによって家に帰っても再現できるように工夫した。



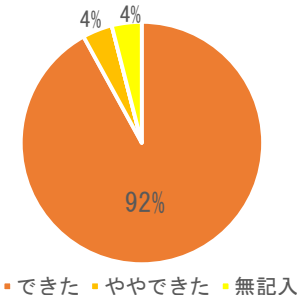
アイスクャンドル点灯式



動物の足跡探し

5 事業の評価

冬の活動を楽しむことができましたか？



- 参加者アンケートから「冬の活動を楽しむことはできましたか」の問いに児童生徒 25 名中 23 名が「できた」1 名が「ややできた」と回答した。
 - ・協力してワックスボールやスノーキャンドルをつくることができた。
 - ・いろいろな動物の足跡を比べて、なんの動物かわかるようになってきた。
 - ・遊びながらおいしいアイスを作れたので家でもやってみようと思った。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 雪や寒さを生かした体験活動を通して、参加者は仲間と協力することの大切さを感じるとともに、道東の冬の美しさや厳しさを味わい、地域への愛着を深めることができた。
- ふるさとの自然のよさをより感じるできるよう、日常生活で見落としがちな寒さに耐える動植物の姿や日の出・日没の観察等も活動に取り入れていきたい。



企画のポイント

参加者同士が主体的に協力し合い、道東の冬の魅力や楽しさを再発見する場面の設定。